

産地戦略

実施期間 令和7～11年度

実施主体 会津坂下地域農業再生協議会
都道府県 福島県
対象地域 会津坂下町
対象品目 さつまいも



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	● 温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

会津坂下町は、広大な水田面積を有し、その農地を適切に保全をしていくためには水稻およびさつまいも等に代表される高収益作物等への転換を含めた計画的な作付等を行っていくことが不可欠である。一方、担い手の高齢化が進み、労働力の確保と作業の効率化が強く求められており、さらに、米価の上昇が見込めない経営環境下においては、土地利用型の高収益作物の導入により、農地利用を維持しながら更なる所得確保が必要となっている。また、環境負荷軽減等の取組については、農業が持続的に発展していくためにも省力化技術の導入推進と合わせ、より一層の拡大を図っていく必要がある。

このことから、さつまいも栽培における環境負荷軽減の技術対策として、生分解性マルチを使用することにより石油由来資材からの転換を行い、排水対策とともに行うことで高品質安定生産体制を確保しながら収穫作業の省力化を図ることで環境負荷軽減へ寄与する取り組みとして推進していく。

さらに、さつまいもの生産において、生分解性マルチを利用している生産者がいなかったことから今回の検証を通じて作成した栽培マニュアルを地域へ波及させることで、所得確保と持続可能な農業への新たな取り組みとして推進していく。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	栽培マニュアルに記載のとおり												
技術名	栽培マニュアルに記載のとおり												



グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	栽培マニュアルに記載のとおり												
技術名	栽培マニュアルに記載のとおり												

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6	目標R11	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	10	▶ 10	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	1	▶ 2	
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	1	▶ 2	
省力化に資する技術の取組面積（ha）	1	▶ 2	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	石油由来（PVA）マルチによるマルチング	▶ 生分解性マルチを使用したマルチング	温室効果ガスの削減
省力	収穫後、人力によるマルチ剥ぎ取り	▶ 生分解性マルチ	マルチ剥ぎ取り作業の省力化による掘り取り作業時間の短縮（約3割削減）

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境	温室効果ガスの削減		▶	
省力	堀取・収穫に係る作業時間の短縮（h/10a）	20	▶ 14	延べ作業時間
			▶	
			▶	

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）
* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

さつまいもは生食、加工用、六次化商品等の多様な販路が存在するため、経営体の多角化経営において所得向上と安定に大きく寄与する作物であることから、排水対策と機械収穫を組み込んだ機械化体系による高品質さつまいも生産体制を確立することにより大規模経営体を中心に普及が進むと見込んでいる。さらに、生分解性マルチへの転換の環境負荷低減の取組については、既存のマルチ作業と同様であることから実施可能な技術であるため、収穫作業の効率化や近年値上がり傾向にある廃プラ処分費用の負担軽減対策としても情報発信していくことで大規模経営体を中心に推進していく。

関係者の役割

関係者名	会津坂下町産業課	会津坂下農業普及所	会津よつば農業協同組合	
役割	産地戦略の進捗管理・情報発信	技術指導・助言	技術指導・助言	

その他